

ユキヒロライブ

愛と平和と希望と笑顔への道

皆さん、こんにちは。

歌わせていただきます。ユキヒロです。よろしくお願いします。

♪ 負けないで行こう 詞／曲 仲里幸広

ありがとうございます。すごく温かい狛江市の皆さんの、合わない手拍子、本当にありがとうございました（爆笑）。最高ですね。今日はこの「こまね平和フェスタ」、それもサブタイトルとして「沖縄に心をよせて」ということで、最初から客席の後方の方から見させていただき、とても感動して、いろんな方のお話や踊りに感動しています。スタッフの皆さんの心配りと言いますか、ロビーでの展示もいろいろ見ながら感動しています。ウチナンチュウとしまして、東京の地で、それも狛江という平和都市、狛江から沖縄のことをいろいろな角度から平和の想いを発信していただき、とても嬉しく、感謝しています。皆さん、ありがとうございます（拍手）。



僕は、沖縄県は浦添市の出身で、あ、沖縄に行ったことない人、手を挙げていただいていいですか、今、手を挙げた方が沖縄の経済を苦しめております（爆笑）。沖縄にぜひ遊びに行っておきたいと思えます。自己紹介をあらためて。僕はユキヒロと申します。カタカナでユキヒロと書いて、ユキヒロと呼びます（笑）。呼び捨てで良いのでユキヒロと呼んで下さい。せー、早いですね、フライングですね、セーノと言ったらお願いしますね。セーノ、（ユキヒロー）。ありがとうございます。嬉しい。今日来たかがあります。この瞬間から皆さんとは友だち。大親友です。どれだけの大親友かと言いますと、もう連帯保証人になって良いぐらいの（笑）大親友だと思いますので、よろしくお願いします。昨日、沖縄から来まして、明日沖縄に戻ります。本当は僕は今日、東京ドームでコンサートだったんですけどキャンセルしてこのエコルマホールにやってきました（笑と拍手）。とても素晴らしい、駅からすぐ近くにあり、しかも改札出てすぐ左手にそば屋さんもあって、大変素敵で冷たいそばとミニかつ丼のセットを食べさせていただきました。本当にありがとうございます。

僕が持っているのが沖縄の代表的な楽器で三線（さんしん）といいます。よく三味線（じゃみせん）という方がいますが、正しくは三線ですね。いま3位、4位ぐらいですか？さんしんタイガーズという球団（笑）があります。「はんしん」ですか。新婚さんいらっしゃーい、という方、桂さんしん（三枝）という方、これはさんしんといいますので覚えていただければ。以上です。ありがと

うございました(三線を元の場所に置きに行こうとする)(笑)。
すみません、こういう人なのでね。

では最後の曲、あ、最後ではないですよ、2 曲目です。
三線の話を少しさせていただきます。約 600 年前に中国から
沖縄に、その 200 年後に本土に入ったと言われています。沖
縄では単なる楽器ではなくて文化の象徴、平和の象徴として
とても大事にされてきました。床の間の文化というのがある
のですが、床の間に何を置いているかでその国の文化を知る
という話があります。日本は刀を置いている。中国は本を置
いている。沖縄は三線。それだけ、沖縄の人にとっては音楽
は生活に根差した文化だったということです。今でもそれは引き継がれて、こどもも年配の方も音
楽が大好きなんです、その三線、戦争中に大変な最中、一面焼け野原、奇跡的に生き残った方は
捕虜収容所に収容されました。捕虜収容所の中で、当時の人口の 4 人に一人が亡くなったと言われ
ていますが、捕虜収容時に入った時には、いつかは殺されるだろうと恐怖し、肉親や友人、仲間を
失った悲しみ、本当に地獄ですね、その地獄の中で、ウチナンチューは捕虜収容所の中で、どう過
ごしたかという、悲しいけど歌おうと話しあわれた。で、三線がないから、三線をつくろうとな
りまして、太鼓のところを米軍が配給する缶詰で作りまして、ここの竿はベツトの木を加工して、
弦はパラシュートの糸を利用して作って出来たのが、かんから三線といわれています。かんから三
線を弾いて歌おうと言うのですが、みんな哀しみ、苦しみのどん底ですから、こんなときに歌うな
んて不謹慎だという声もありましたけれど、ちがうんだ、悲しいから、苦しい時だからこそ、歌う
んだ、歌えば必ず元気が、希望が湧いてくる、そうやって一人が弾いて歌うんだけれど、なかなか
みんな歌わない、そんな中で一人が歌い、二人、三人、四人と歌っていく中で、沖縄の言葉でヌチ
ドゥタカラ、命こそ宝という言葉があります。生きていれば必ず、必ず良いことがある、必ず幸せ
になれる、だから生きていこう、ヌチドゥタカラ、そのために歌って、みんなを元気にしていこう。
歌って、踊っていくとみんな笑顔が出てきて、捕虜収容所の中でも結婚披露宴が行われたんですね。
それで、米軍の捕虜の記事ですね、いろんな捕虜を見たけれど、こんなにたくましくおらかな捕
虜を見たのは初めてだと言われている位、ウチナンチューはたくましくヌチドゥタカラをモットー
に生きてきました。ですから、三線は沖縄にとって文化であり、また平和の象徴として大事にされ
てきました。

では三線を使って 1 曲歌います。大好きなウチナー、聞いて下さい。



♪ 大好きな沖縄(ウチナー) 詞・嘉手苺 智 曲・仲里幸広

僕は毎年、広島の方で自分が立ちあげたイベントがあります。ピースベルフェスティバルと言いま
す。僕の曲で「HEIWA の鐘」というのがありますが、英訳してピースベルフェスティバルで
す。毎年やっています今年で 12 回目を迎えますけれど、何度か広島に足を運び、平和公園、平
和資料館などいろいろ見学させてもらい、広島の方といろいろな話を交える中で、そこから生まれた
曲がありまして、広島への思いを歌にした曲があります。タイトルが「広島へ」です。聞いて下さ
い。

♪ 広島へ 詞／曲 仲里幸広

僕らはこの時代に生き、戦後 74 年を迎えて、日々の生活、現実になっていくと何気なく過ごしていて、そういう中から、僕らは限りある時間の中で生きているんだなと思います。限りある時間、そういう歌をつくろうと作った歌です。次は限りある時間を歌いますが、普段は当然、明日も生きていると思いますし、来週どうしようかな、来年どこに行こうかなと、のんびりと楽観的な考え方、それはそれで、素晴らしい。良いと思いますけど、でも、たまには、僕は限りある時間の中で生きているんだなと思うと、この瞬間、瞬間の出来事が、出会いがとてもいとおしく、とても大切なことに気づくのではないかと思います。これはうたごえ青年の皆さんと一緒に平和の想いを、平和の歌をつくっていこうと言う中で生まれた曲です。聞いて下さい。



♪ 限りある時間 詞／曲 仲里幸広

では最後に「琉球」という歌を歌います。僕のアルバム、あ、アルバムの話を出してしまいましたねえ（笑）。なんかロビーに有ったみたいなんですね、僕のアルバムが。エ、もう買いました。ありがとうございます。アルバム、3000 円。ちょっと 3 千円と聞くと、それも税別、ちょっと高いと思うかもしれませんが、15 曲入ってまして、1 曲 200 円の計算なら安いかなと、そう思ってだまされて買う人、多いみたいですけど。良かったら。これ、押し付けではないです、強制です（笑）、あ、強制ではないです。冗談ですよ。



琉球、かつて沖縄は琉球王国という独立した国でしたが、国の特徴としましては武器は持たずに歌や踊り、芸術、文化で持って世界中の人たちと仲良く、それが平和外交とつながったという生き方を残してくれました。未来はどうあるべきかと思ったときに、やはり先人たちが残した平和への想いを引き継いで、武力、抑止力なんかでは人の心は支配できないことは、過去の戦争を見れば明らかですから（拍手）、まだそういう愚かなことにばかりに力を注ぎ、お金も注ぎ、何の過去の教訓も得ていない現状がありますけれど、やはり、民衆は賢いですから武力ではない、人はやっぱり楽しむために、どの国の人たちも楽しむために、幸せになるために生まれてきましたから、みんなが喜んだり、楽しんだり、感動するにはどうしたら良いか、そのアイデアをいろんな人たちが出し合っていけば、争いなんか起こる訳はありません。僕はそういう思いで創ったのが「琉球」、「HEIWA の鐘」です。

時間があれば沖縄の現状なども話したいのですが、僕は浦添市出身、生まれ育ちましたが、今

は宜野湾市に住んでいます。浦添市と隣町で、しょっちゅう、普天間の騒音には悩まされて育ってきましたけれど、僕の家では普通の CH35 ヘリ、戦闘ヘリですね、とかオスプレイが飛ぶたびに僕の家テレビは真っ暗になります。残念なのはスポーツの一番良いところでバタバタと真っ暗になります。それほど衝撃の強い電波が発信されています。特にオスプレイなどは不気味な音ですね。そういう中で生活してますけど、これが当たり前ではないと思ってまして、こういう異常な事態を早く、沖縄から一刻も早く、戦争に加担する、戦争のための基地はいらないと思います。それは沖縄だけでなく、日本全国、世界にもいらないと思います。その模範となるのが沖縄にそういう問題提起、課題があるんじゃないかと思っています。沖縄の平和の心と泊江のこの会場の皆さんと一つになって平和の心を広げていきましょう！！（拍手）

では最後に「琉球」聞いて下さい。

♪ 琉 球 詞／曲 仲里幸広

